

こんにちは日本共産党です

広陵民報

2014(平成26)年10月-031

発行：日本共産党広陵支部
町会議員：八尾 春雄 0745-60-0972
snkb30217@hera.eonet.ne.jp
町会議員：山田みつよ 0745-55-7003
my22@kcn.jp
日本共産党広陵町議員団 HP
http://koryo-jcp.jp/

爽りの秋を迎えています(寺戸)



充実した中学校給食 実現のために…：自校調理方式の選択を！

9月18日中学校給食運営委員会の答申書が山村町長に提出されました。日本共産党議員団はこの運営委員会を最初から毎回傍聴してきました。

7月16日の運営委員会では菅野委員長はいきなり採決でなく委員の総意を反映したものにしたい」として項目別に点

数を設定して合計点で判断する方法を提案していました。ところが、8月11日に2名の委員欠席の下、山田光春委員(元公明党町議)が「記名採決」を主張してセンター方式を決めています。全員出席であれば結果が異なつた可能性がありますが、公務で欠席者が出る日に、決定方法を変更するのは問題ではないでしょうか。答申書にはセンター方式賛成委員の意見を紹介してありますが、運営委員会としてこれこれの理由でセンターがよいとの記載がなく「運営委員会の総意としてどちらかを決定するに至らず、出席委員による投票により選定した」となっています。逆に「当初の整備コストのみならずランニングコストも加えた長期的なトータルコスト面でも自校式の方が財政的に負担が低いことがわかる。」(4ページ)と真逆の報告を行っています。

方式でなくとも自校調理方式でも対応が可能な事柄が提起されており、こうした点からもセンター方式に決定した根拠を挙げられなかったものと思われまます。議会の中学校給食特別委員会では、議会には特別委員会を設置してありますが、申し合わせていた自校方式の視察研修(大阪府箕面市)は未実施の状況です。日本共産党議員団は、食育にすぐれ、適温で提供でき、子どもたちと調理員さんの距離も近くなる自校調理方式の実現をめざし最後まで奮闘します。

注目される山村町長の最終判断

「自校調理方式を公約した山村町長の最終判断が注目されます。平成28年4月実施を遅らせることはできません。土地の発掘調査から始めなければならないセンター方式では実施が遅れる可能性がより大きくなります。」

ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する救済を 求める意見書(日本共産党議員団提案)全会一致採択！

9月議会報告

注射針の使い回しなど本人の責任でない予防接種や輸血・血液製剤などによるウイルス性肝炎患者は全国で350万人にものぼる国民病です。B型・C型肝炎患者の症状が悪化すると、肝硬変・肝がんに至り、死にいたる患者も少なくありません。体調がすぐれず、働けない場合も多く、収入がないのに治療費が高額で苦しんでいる患者が多いのは、肝硬変・肝がん自体に対する国の医療費補助がないことが原因です。こうしたことから、国に医療費の助成制度を設けるようにとの日本共産党提案の意見書が可決されました。

国保・介護・後期高齢者医療に関する各特別会計決算に反対

9月議会は、「決算議会」とも言われます。平成25年度決算を審議しました。国民健康保険は、今年3月に「このままで行けば大幅赤字になる」として国保税の値上げを決定しました。「高い国保税は負担するのが本当に」との声が多く今度の決算が注目されていました。9850万円の赤字に、赤字になると言われて値上げした根拠が間違っていたことが明らかになりました。また、20年前には国の負担金が50%あったのに25年度は24%と半減していることが高額国保税の原因です。全国知事

議長が、議決していない意見書を国に送った問題で、取り下げを求める議員が5名に

「党派を超えて賛成する」(笹井議員)、「議決していない意見書は取り下げが当然だ」(竹村議員)

6月議会で、慰安婦問題に関して「新しい総理大臣談話を求める請願」が採択されましたが、これに関連した意見書は上程も審議も議決もされていません。意見書は議員の12分の1以上の賛成がなければ提案できません。

ところが6月議会終了1か月後、青木議長が上程も審議も議決もされていない意見書を勝手に国に送っていたことが判明しました。これは地方自治法99条に違反する行為であり、日本共産党議員団はこの意見書を取り下げる決議案を9月議会に提案しました。議会最終日の9月22日にこの決議案が審議されました。

討論では笹井議員が「請願と意見書はそれぞれ別建てで手続きが必要で一括採択などできない。党派を超えて賛成する。」と発言。また、竹村議員運営委員長も「上程も議決もしていない。取り下げは当然だ。」と賛成意見が述べられました。

問題の意見書は、従軍慰安婦に関する河野談話を見直し新たな総理大臣談話を出すように求める内容ですが、広陵町議会では既に平成24年9月26日に河野談話に基づく慰安婦問題の解決を求める意見書を全会一致採択しており、当の安倍首相も本年6月20日「河野談話を継承する」と明言しています。

採決では棄権1、賛成5、反対7となり取り下げを決議できませんでした。保守系議員と日本共産党議員の間で「地方自治法を遵守した議会の運営」との合意形成が明確になったことが大きな成果と言えます。

詳細は日本共産党広陵町議員団HPの「論戦コーナー」をご覧ください。
http://koryo-jcp.jp/

会(京都府山田知事が会長)も「高い国保税は住民の払える限界に近い、国庫負担の増額を」と国に申し入れていることを紹介して決算案に反対しました。



介護保険は、町内で65歳以上が7470人の内認定されているのは1194人です。ところが国は要支援1・2を介護保険から外そうとしており、こうなると358人は介護保険が使えなくなります。年金から勝手に保険料を天引きした上、9人に1人しか介護保険が使えなくなる改悪は認められません。

後期高齢者医療は、75歳以上を別制度で管理し、高齢者の医療費は高齢者が負担せよというひどい医療制度です。この制度の保険者である県広域連合の議員は掛金を負担している高齢者からは選出されておらず、非民主的な運営となつていくことから反対しました。

一般会計などその他7決算は意見を述べて賛成しました。



山田みつよ一般質問

質問一 公共交通について

〔質問〕奈良交通バスの運行廃止や減便の報道があるが町は存続のため補助金をいくら払うのか？奈良交通に払うくらいなら町独自のデマンドタクシーを昼間走らせて朝晩は元気号を充実させていくやり方の検討を！又元気号の停留所に椅子を置いてほしいと言っている希望がある。時刻表より早く行かれて長く待たれる高齢者に配慮を！

〔町長答弁〕バス停への椅子設置は道路上に設置する制限があり考えていないが公共施設内等は検討する。公共交通のこ意見はアンケートや地域懇談会でお聞きしたい。奈良交通には年間500万の負担額で調整している。

質問二 開発は計画性を持ったものに

〔質問〕平尾の奈良県農協南側の新興住宅は県道から入る町道が4メートル未満と狭く防災の点からも住民は不安だ。安部地域も開発が進んでも公園もなく、町全体がミニ開発で在来地域では水浸きの被害も起きている。田や畑が住宅に変わって豪雨時に保水能力が落ちていて心配だ。こうした開発は今後県とも相談して計画性を持って開発すべきだ。

〔町長・担当部長答弁〕今後、県とも十分に協議してまいりたい。平尾の奈良県農協の南側の住宅は農協が将来倉庫等を建てなおす時に道を広げるよう進言する。

質問三 英語の外国人指導助手の活用を！

〔質問〕A1+という英語の指導助手の方が小学校2人、中学校1人町費で雇用されている。熊取町などでは夏休みの間の取り組みなどで活躍されています。放課後等、などでもっと活用して子ども達が英語を楽しく学び英語が好きになるように英語教師との打ち合わせの時間など確保して活用の強化を工夫すべきだ。

〔教育長答弁〕小学校は週1回35週、中学校では隔月で2校の英語を指導助手として授業を行っている。これからの児童・生徒にとって欠かせない重要な科目なので今後先例を研究して進めていく。

八尾春雄一般質問

質問一 馬見南2・4丁目、馬見北5丁目の地区計画について

〔質問〕既に県知事が同意し町が告示した馬見南2丁目・同4丁目の2つの地区計画について、今議会に条例改定案が提案されていない、提案すべきである。また馬見北5丁目地区計画については今後どのように進めるのか。

〔町長答弁〕馬見南2・4丁目については、本年3月と5月知事同意を得て、いずれも法に基づく都市計画決定の告示を行った。あわせて障がい者の保護者からの請願(昨年9月議会採択)に基づく条例

の一部改定を用意しており該当の地権者に説明し地元協議を終えてから一緒に議会に上程する。馬見北5丁目は先日意見交換会も開催したので都市計画審議会に諮って町として決断したい。

質問二 中学校給食について

〔質問〕運営委員会ではセンター方式で7対6で決定したが、やむを得ない理由で欠席した2名の意見を加えれば結論は変わった可能性がある。同委員会答申についての所見を伺いたい。小学校給食に関する要望は学校給食委員会検討すべきではないのか。

〔教育長答弁〕近く答申書が出る予定なので、精査し、議会とも協議したい。小学校給食に関する課題も提起されたが、改修・整備計画を立て、学校給食委員会に対応するのはその通りだ。

質問三 高田川の土砂撤去について

〔質問〕豪雨で8月24日近隣の独居老人がさわやかホールに避難されている。県の工事はいつから始まるのか。他の河川での改修工事の進捗はどうか。

〔町長答弁〕大字中の井堰基礎部分の掘削工事に併せて堆積土砂の撤去の予定と確認している。広瀬川・葛城側・土庫川の護岸改修・堆積土砂の撤去についても継続し



○ 憲法九条を破壊し「戦争する国づくり」を目指す

○ 集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求めます

て土木事務所に要望している。
その他の質問事項 ① マイナンバー制度について ② 沢工場移転受け入れに関して交通安全の確保を

暮らしのアンケートに 住民の悲鳴が

本年7月全戸配布で広陵民報30号とセットでくらしのアンケートをお願いしたところ200名を超える方から回答をいただき集計中です。アンケート活動の結果をふまえて決算や各議案への適否を判断しています。ご協力ありがとうございました。

- 暮らし向きは昨年と比べてどうか？
少悪くなった(38%) 悪くなった(34%)
良くなった・やや良くなった(6%)
- 悪くなった原因は？
年金が減った(50%) 税負担が増えた(41%)
- 今の政治に望むことは？
①税金の無駄遣いをやめよ(75%) ②介護保険料の引き下げ(53%) ③消費税10%の中止(50%) ④年金の引き上げ(50%) ⑤国や自治体の借金を減らせ(41%) ⑥国保税の引き下げ(38%)
- 原発について なくすべき(31%) 減らすべき(28%) 必要である(9%)
- 憲法解釈変更で集団的自衛権を認めることについて ①認められない(41%) ②認めるべき(22%) ③わからない(16%)
- 議員に望むことは？
①税金の無駄遣いをチェックする(50%) ②意見をよく聞いて行政に届ける(31%) ③国の政治へも意見を言う(19%)
具体的なご要望も書いていただいていますので、調査して対応します。

平成26年9月議会議案の賛否

(敬称略) <賛成○・反対×>

議案	日本共産党		公明党		民主党		無所属							結果	
	八尾春雄	山田みつよ	吉村	山村	坂口	堀川	谷	坂野	竹村	奥本	吉田	青木	笹井		八代
平成25年度決算 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11 反対2 で可決
議決していない意見書の 取り下げを求める決議	○	○	×	×	×	×	×	退席	○	○	×	○	×	賛成5 反対7 で否決	

